

令和7年3月3日

足立区立千寿桜堤中学校
学校長 齋藤 由美子 様

足立区立千寿桜堤中学校
開かれた学校づくり協議会

令和6年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

(1) 年度当初の目標設定と実行結果に対する自己評価がわかり易くまとめられており、自己評価は適切である。

(2) 学力については、区調査ではグラフを見ると、どの学年もすべての教科で正答率・通過率ともに区平均・全国平均を上回っており、学習の定着に向けた取り組みの成果が表れている。また、「2年生の足立区連合英語学芸会のスピーチ部門の3位入賞」、3年生のESAT-Jでの結果が都の平均を上回っており、学力においては高いレベルであることが確認できた。

2 学校に提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

(1) 「課題」

① 区調査アンケートで学習意識において、概ね区平均を上回っており成果が表れているが、昨年度に比べると「学校での授業は分かる」が「-3.5」と下がっている。そのため学校全体で授業力の向上に取り組むことを望む。

② 各アンケートでは、ICTの活用、英語の活動などに課題があった。学校で行われていることを地域や保護者に対して「見える化」し、わかりやすく地域や保護者に伝えていくことを望む。

③ 開かれた学校づくり協議会の授業診断評価の中で、生徒の表現力に課題が見られた。授業の中で生徒が表現をする場面をさらに増やしていくことを望む。

(2) 「保護者・地域への期待」

① 創立二十周年記念式典を実施し、学校と保護者・地域との連携強化を進めることができた。また避難所運営会議を実施し、防災への意識を高めたところであるが、今後も学校は保護者・地域と連携しながら防災教育を重点的に進めていくことを切に望む。

3 その他

(1) 陸上部の関東大会の出場の際には、地域全体で選手を応援することができ、地域の活性化につながる出来事であった。

(2) 足立学園への避難訓練、北米に留学した高校生との次世代リーダーオンライン会議、インド大使館関係者による学校訪問、元JICA協力隊による講演といった国際理解教育、歯科保健学習（こきざみの技・体験教室）、青年会議所と共同でのお化け屋敷（ゾンビスクール）、2年生から1年生へ学習アドバイス等、新しい取組を積極的に推進していることが確認できた。